

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 4日		～ 令和 7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	見る力を意識した集団	・3人までの集団なので、1年間の取り組みのカリキュラムを考えています。その中から、クラスの子どもに必要な要素を遊びの中に取り入れ、さらに見る力を意識した支援を行っています。	・職員ひとり一人がビジョントレーニングの理解を深め、どの段階のアプローチが必要なのかを見極めて支援できるように、職員の研修を行っています。
2	・担当制(1年ごとに変更)であるので、支援が一貫性を持って進められる	・担当制であるため、信頼関係の構築が早期にできます。また、支援を段階的に進めることができます。	・子供たちの状態を見極め、その時に必要な支援を取り入れていくことで、支援者も利用者も楽しい時間になるように工夫していきます。
3	・環境グッズの提案	・小学校に向けて、鉛筆・下敷き・定規や椅子の座り方等、実際に机と椅子を使って確認し、必要な道具の提案を行っています。	・保護者室にラミネート加工した紹介資料を用意していますが、現在は、秋以降の紹介となっています。今後は春から紹介を開始し、家庭でも試したり検討したりする時間が持てるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・同じことでも、職員の感じ方が違うことで人任せになることがある	・職員それぞれ自分の意見をもっていますが、感じ方の違いから、自分事としての発信力が低く行動に起こしにくいことがあります。	・毎日のミーティングの中で擦り合わせを行い、役割を明確にしていくことで主体的に行動できるようにしていきます。
2	・施設内に壁や隙間が多く、ぶつかったり挟んだり怪我になることがある	・家の構造と同じため壁で仕切られており、クローゼットの扉など各部屋にあります。 ・クローゼットの中に棚を置いているが、入りたくなるような隙間が出来てしまっています。	・子供が興味を持ちそうな隙間などは、あらかじめ作らないようにし、整理整頓を徹底することで安全に過ごせる環境を整えていきます。
3	・施設が2階の為、玄関を開けてすぐ階段があり、降りても前がすぐに道路になっている	・施設が2階にあります。	・施設の構造を変えることはできませんが、手すりに網を設けたり、滑り止めをつけたり、登ったところはシートで覆って柵に登らないように工夫しています。さらに、定期的に点検を行い、安全を確保していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日 2025年 3月 17日

利用児童数 6名

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	2			・もう少し広いと、なおありがたいです。 ・座学に関しては問題ないと思いますが、少し狭いかなという印象	・施設の構造上広さを変えることは出来ませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3				・子供2人に対して3人の先生がいてくださり、安心していきます	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				・ボードに、今日の予定をかいてくださっていて、子どもは見えて理解できているので分かりやすくしていただいています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				・綺麗です	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				・遊びを取り入れながら、楽しく支援していただいています	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				・その都度評価をし、子どもにとって最善の支援をしていた抱えていると思います	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				・毎回先生とのお話があり、目標設定や課題も明確になっていると思います	・今後も引き続き、事業所内相談や振り返りの時間に相談しやすい雰囲気作りに努めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				・満足しています	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				・子供に沿った支援をしていただいていると思います	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				・子供の様子を見ながら、支援内容も検討し、毎回同じではなく工夫して支援していただいていると思います	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1			・参加はできていませんが、イベントは定期的に行っていたいただいています	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				・わからないところは教えていただいています	・今後も説明してお渡しできるように努めていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				・担当の先生と話し合いをしながら計画を立てて、支援していただき、評価をして次に活かしていると思います	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1	・子どもに必要な支援や用具も教えていただいで、参考にさせていただいています	・支援後にフィードバックを行い情報の共有を行っています。今後、イベント開催時に、同時時間の保護者の茶話会開催などの検討をしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				・毎回、終了後に説明していただいています	・今後も共通理解ができるように努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				・毎回していただいています	・お話しがある際に、相談できる環境を整えていきます。いつでもお声掛け下さい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				・満足しています	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1		・兄弟の支援には参加したことはありません	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1			・担当の先生だけでなく、そのほか支援に入ってくさっている先生とも話す機会があり、相談しやすい環境にはあると思います	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				・毎回お話をさせていただきます	・職員間の報告・連絡・相談を徹底していけるように工夫し、伝達の漏れがないように努めています。また、職員一人ひとりが自分の言葉に責任をもち、寄り添いながら対応できるように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2			1	・SNSではいけんしています	・ホームページがあります。また、Instagramに投稿もさせていただいておりますので、ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2			1	・されていると思います	・鍵のかかる場所で保存しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1		1	1	・わかりません	・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			2		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1			1	・一度もないのでわかりませんが、すぐに連絡くださると思います
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				・楽しんで通えています	・皆様に「楽しい」や「できた」を感じて頂けるように支援内容を工夫し、安心して通っていただけるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				・すごく楽しみにしています	・遊びの工夫を職員間で話し合い、向上していけるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				・総合的に満足しています ・ここに通うことで、様々なアドバイスを頂けるので、有難いです。スタッフも皆さんいい人で感謝しています。	・何か不明な点がありましたら、いつでもご相談下さい。また、質の向上をしていけるように努めています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合				公表日	2025年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・人数が多い時は机を室外に出すなどの方法をおこなっています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・利用者の定員に対して職員の配置が少ないと思いますが、スタッフ同士でフォローし合いながら事業所運営をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	・施設が2階にありバリアフリーにはなっていません。 ・施設が2階であり、急な階段があります。 ・設備の都合上バリアフリー化は難しいですが、入ってはいけない場所等が視覚化しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・日々掃除を行い、清潔を保っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・集中の持続が難しい等の困り感を抱えた利用者様には個別の使用を促しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・イベントは、必ず振り返りの時間を取っています。その他、必要に応じてでは在りますが、振り返り・目標の確認をしています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・アンケートなどを通して把握しています。	・頂いた意見に対して検討を重ねていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・個別で話をする時間を持ったり、ミーティングで意見を出したりしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者による外部評価は実施していません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・行きたい研修には参加できるようにしており、法人内の研修も開催されています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。 ・5領域プログラムの公表はされています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・聞き取りを行っています。	・支援の中でさらにお子様の分析を行い、必要があれば保護者と話し合いを行って、計画書の変更をしていきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・作成する際は、児発管と担当者で担当者会議を行い、支援を共通理解できるように検討を行なっています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・パソコンやファイルからいつでも確認できるようになっており、計画書を確認し、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	・インフォーマルなアセスメントとしてはミーティングの時などで確認はできますが、フォーマルな形式としてのアセスメントは共有できていないことが多いです。 ・適応行動の状況を把握するための標準化アセスメントツールを用いて評価は実施できていません。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子どもの困り感などに応じて作成していません。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。また、子どものニーズに合わせて活動内容の立案を出しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・同じような活動は、子どもたちが安心して取り組める活動であり、見通しが持ちやすく、取り組みやすいと考えています。その中で一人ひとりに合わせて、レベルアップを行いながら、楽しめるように工夫しています。 ・集団支援枠ではイベントを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その日の状態に応じていつものクラスで参加できるかを確認し、プログラムの内容を伝えることで見通しをもってもらい、どのように過ごすかをお子様と一緒に考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・打ち合わせ出来る時間を見つけて担当同士やスタッフ全員に周知を行っています。 ・その他、打ち合わせが必要な時は随時行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・「必ず」ではなく、「必要があるとき」に行っている状態です。時間的な制約があり、毎回、必ず、行うことは現実的には難しいところがあります。	・意識して、当日か次の日までには振り返りや共有を行うようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・担当制ではありますが、事業所に通っていただいている利用者の情報を、職員全員で確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年に1度見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・担当制ですので、基本は担当と管理者で参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・必要に応じて連携をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・保護者を通して支援内容を伝えたり、実際に見てもらったりして共有できるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・必要な児童に関しては書面等で情報を提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6	・支援センターとの連携はありませんが、他事業所や相談指導員との交流は行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	・チラシなど提示することはあります。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・フィードバックの時等の短時間で相談できない時は、面談の実施をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・必ず支援後にフィードバックを行い、保護者に支援内容を伝えたり、情報の共有を行っています。	・イベント開催の同時時間帯で、保護者の茶話会ができないかと考えています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に伝えていますが、内容が変わり次第伝え直しをしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・聞き取りや相談を行う事で意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・サインの前に、内容の説明をし、確認をして頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・フィードバックの時等の短時間で相談できない時は、面談の実施をしています。 ・子育てサポート支援加算を使用して相談に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・保護者の交流やきょうだい同士で交流する機会を設けてはいません。	・現状実施できていない為、今後、まずは保護者同士で話し合える茶話会などを開催していく事を考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・申し入れがあれば迅速に対応して話し合いを行い、全職員で共有できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・インスタグラムへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵のかかる場所で保存しています。	
非常	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもと保護者の思いをくみ取るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・法人としては行っていますが、事業所としての対応はしていません。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画を立てて訓練を実施しています。	
非常	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・把握できるよう発達記録の記入をお願いし、一覧表にまとめています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・把握できるよう発達記録の記入をお願いしていますが、食べ物を使う時は、事前に保護者に確認を行っています。	

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画を作成しており、それに則り感染症や虐待などの研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・契約時に説明するようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットが起こった時に協議をし、再発防止できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時に説明するようにしています。	